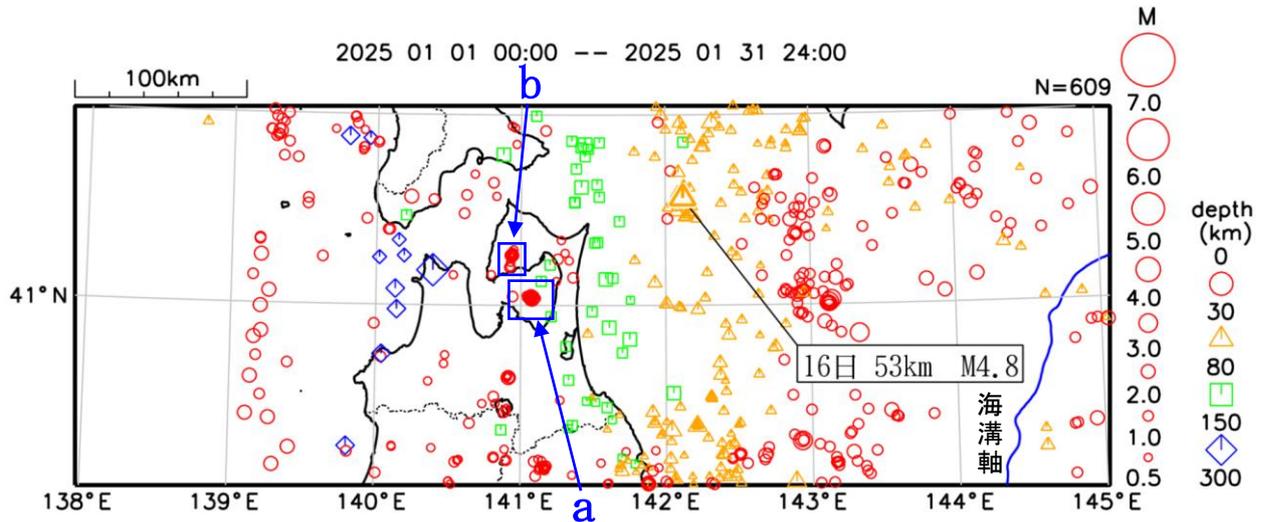


青森県月間地震概況

2025年1月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【1月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は609回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回であった。

16日07時38分に青森県東方沖の深さ53kmでM4.8の地震が発生し、青森県で震度3を観測したほか、北海道、青森県、岩手県で震度2～1を観測した。県内では、階上町、東通村で震度3を観測したほか、下北と三八上北、津軽北部で震度2～1を観測した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震源付近では、M5を超える地震が時々発生しており、2012年5月24日にはM6.1の地震が発生し、青森県東北町で震度5強を観測した。

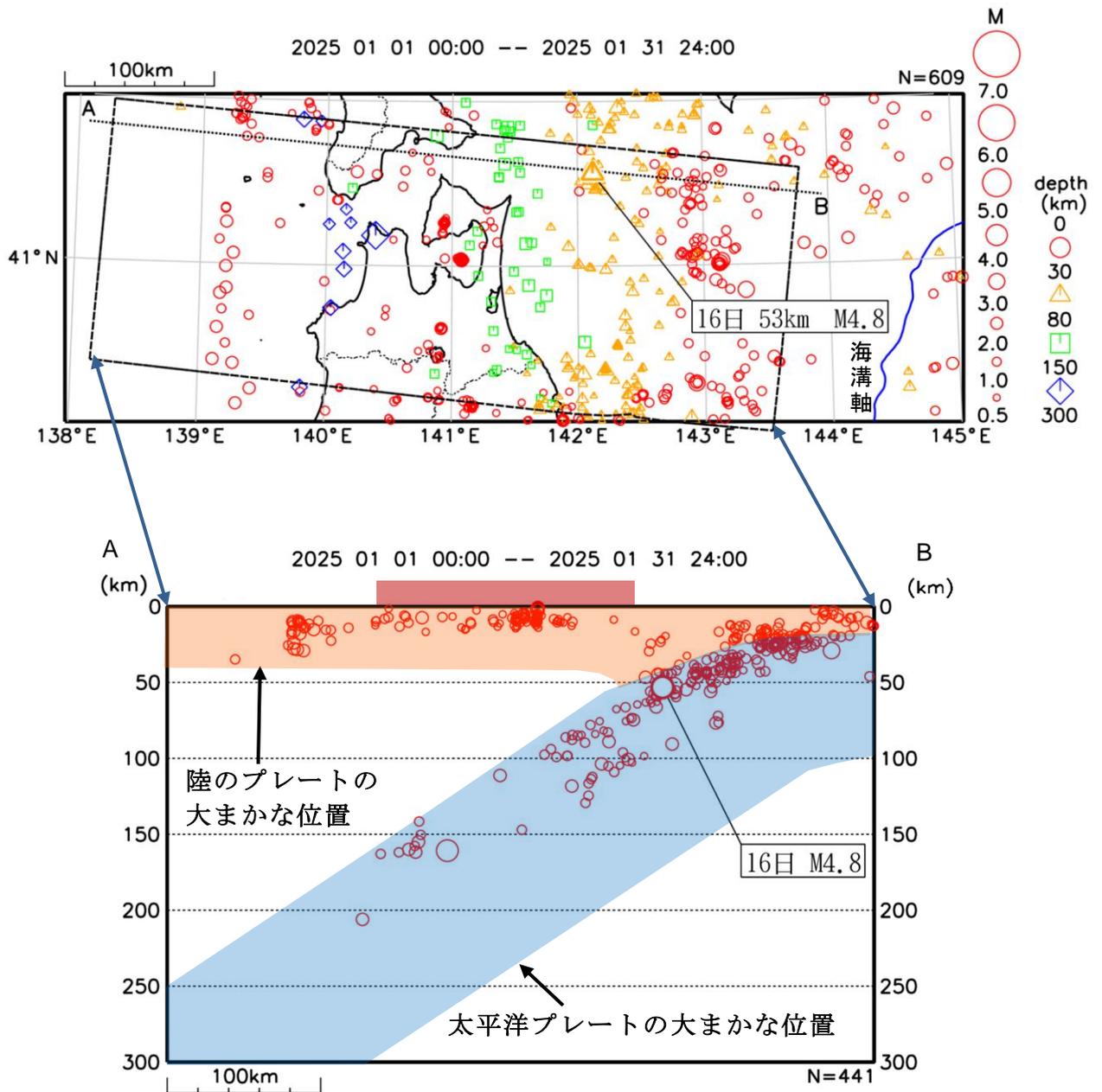
2024年11月16日にM4.6、11月20日にM5.1の地震（共に県内最大震度4）が発生した陸奥湾（図中aの領域）では、1月は震度1以上を観測する地震は発生しなかったが、16日にM2.5の地震が発生する等、依然として地震活動は継続している。

青森県むつ市付近（図中bの領域）では、2025年1月下旬に一時的にM2に満たない地震がまとまって発生した。これらの地震は地殻内で発生した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年1月1日～2025年1月31日

| 発震時 | 震央地名 | 北緯 | 東経 | 深さ | 規模 |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------|-------|------|
| 各地の震度 | | | | | |
| 2025年01月07日11時47分 | 青森県津軽北部 | 41° 10.9' N | 140° 23.4' E | 161km | M4.5 |
| 青森県 | 震度 1 : 東通村砂子又沢内* | | | | |
| 2025年01月16日07時38分 | 青森県東方沖 | 41° 33.8' N | 142° 07.2' E | 53km | M4.8 |
| 青森県 | 震度 3 : 階上町道仏* 東通村砂子又沢内* | | | | |
| | 震度 2 : 八戸市湊町 八戸市南郷* 野辺地町田狭沢* 六ヶ所村尾駸 むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 東通村砂子又蒲谷地 | | | | |
| | 震度 1 : 平内町小湊 平内町東田沢* つがる市車力町* 外ヶ浜町蟹田* 八戸市内丸* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町上北南* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市大畑町奥薬研 むつ市川内町* むつ市脇野沢* 東通村尻屋* 東通村白糠* 風間浦村易国間* 佐井村長後* | | | | |
| 2025年01月21日03時14分 | 宮城県沖 | 38° 47.8' N | 141° 35.6' E | 69km | M4.4 |
| 2025年01月21日03時14分 | 宮城県沖 | 38° 14.1' N | 141° 44.9' E | 51km | M4.0 |
| 青森県 | 震度 1 : 階上町道仏* | | | | |
| 2025年01月27日10時11分 | 青森県東方沖 | 41° 34.7' N | 142° 06.0' E | 53km | M3.7 |
| 青森県 | 震度 1 : 階上町道仏* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内* | | | | |
| 2025年01月31日19時42分 | 岩手県沖 | 40° 20.5' N | 142° 02.3' E | 52km | M3.6 |
| 青森県 | 震度 1 : 八戸市湊町 青森南部町苫米地* 階上町道仏* | | | | |

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

複数の震源要素を併記しているものは、ほぼ同時刻に発生した地震のため震度の分離ができないことを示す。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

地震及び津波に関する情報の発表のタイミング

気象庁では、気象庁や関係機関が全国に設置した地震計や震度計、津波観測施設などの観測データを収集し、24 時間体制で地震や津波の監視を行っています。

大きな地震が発生した場合、命を守っていただくための情報として、数秒から十数秒で緊急地震速報を発表し、津波による災害の発生を予想した場合は、地震発生から約3分を目標に津波警報などを発表しています。

その他の情報も含め、各種情報発表のタイミングは下図のとおりです。



各種情報の詳細については、以下のページをご覧ください。

地震情報について（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/seisinfo.html>

緊急地震速報について（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/index.html>

津波警報・注意報、津波情報、津波予報について（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」について（気象庁ホームページ）

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nceq/info_guide.html

では、これらの情報を見聞きし、身を守るためには、どのような対応をとればよいのでしょうか。避難のポイントをまとめました。

地震・津波から身を守るためのポイント

○緊急地震速報を見たり聞いたり、地震の揺れを感じたら「あわてずに、まず身の安全を確保」してください。緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせする情報です。また、震源に近い地域では、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わない、猶予の時間がわずかしかないことがあります。この場合でも取るべき行動は同じです。

○大津波警報・津波警報を見たり聞いたりした場合は、直ちに高台などの安全な場所へ避難してください。また、震源が陸地に近い沿岸部（特に日本海側）の場合、津波警報などの発表が津波の襲来に間に合わないことがあります。沿岸部で強い揺れや弱くても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、津波警報などの発表を待たずに、直ちに安全な場所へ避難してください。

○津波による災害のおそれがない場合には、その旨を記述した地震情報「震源に関する情報」を発表しますので、それまでは気を緩めないでください。

○津波警報や津波の高さの予想は更新する場合があります。常に最新の情報を確認してください。

○津波は沿岸の地形などの影響により、局所的に予想より高くなる場合がありますので、ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難してください。

○津波は長い時間くり返し襲ってきますので、津波警報などが解除になるまでは、避難を継続してください。絶対に安全な場所から離れないでください。

また、地震や津波から身を守るためには、日頃からの備えや心構えも必要です。

地震・津波災害に備える

○備蓄・非常持ち出し品の準備は基本です。

○屋内にいるときに大きな揺れに襲われた場合には、まずは身を守らなければなりません（怪我をしまうと、その後の避難ができなくなります）。このため、日頃から、大きな家具等は倒れたり移動してこないように固定したり、室内になるべく物を置かない安全スペースを確保しておきましょう。

○津波からの避難場所や安全な避難経路を把握しておきましょう（地域ごとの決まりもありますので、それに従って避難してください）。特に、海の近くにいるときには、必ず津波避難場所を確認しておいてください。

いざという時にあわてないために、取るべき行動を日頃から訓練しておくことも大切です。6月、11月5日（津波防災の日）前後には緊急地震速報の訓練を実施しています。訓練を行うための動画やスマートフォンのアプリもありますので、これらの機会やお住いの自治体が行う訓練に積極的に参加して、定期的に地震や津波から身を守るための対応行動を身に付けておきましょう。

緊急地震速報訓練を実施するための映像・教材など（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/kunren/kit.html>

